



理 念

わたしたちは、患者様の立場に立った全人医療を行い、地域の皆様に愛され信頼される病院を目指します。

消化器内視鏡検査について

阪本病院副院長 吉田 勇人

皆さんは食道・胃・十二指腸ファイバースコープや大腸ファイバースコープの検査を受けられたことがありますか?様々な消化器の症状(例えば腹痛、吐き気、嘔吐、胸やけ、胃のもたれ感、食欲不振、下痢、便秘、下血など)がある時、私たち医師はその症状に応じて幾つかの消化器を中心にした疾患を考え治療に当たる訳ですが、問診(症状や既往歴をお聞きすること)や視診(患者様を見て診察すること)、触診(患者様をじかに触って診察すること)で判断して治療出来る場合もあれば、それだけでは診断が難しい場合もあります。つまり色々な消化器の疾患を考えた時、それを証明することが出来れば、より確実な治療が可能になります。すなわち症状に応じた検査が必要となってくるのです。

消化器疾患に関する主な検査法としては

- ①腹部超音波検査(エコー検査)
- ②腹部レントゲン検査(バリウムなどの造影剤を使った検査も含まれます)
- ③腹部CT検査
- ④消化器内視鏡検査(食道・胃・十二指腸ファイバースコープ、大腸ファイバースコープ)
- ⑤腹部MRI検査
- ⑥腹部血管造影検査その他

などが挙げられます。①は肝臓や胆嚢、腎臓などの疾患の診断に有効で、患者様の苦痛も殆どなく、手軽に出来るのもっともよく行われている検査です。③もほぼ同じですが、レントゲンを使うので被爆の問題は避けて通れません。

さて消化管(口～食道～胃～十二指腸～小腸～大腸～肛門)の検査としては、②のバリウムなどの造影剤を使った消化管造影法と、④の消化管内視鏡があります。造影法は全体を一度に見るのには有効ですが、いわゆる「影絵」ですから小さな病変を見逃す恐れがあります。それに比べて内視鏡は直に観察することが出来るので見落とす可能性が少なく、さらに組織を採取したり、小さな病変や異物(あるいは寄生虫なども)を取り除いたりすることも可能です。つまり診断と治療が同時に出来るということです。

内視鏡は消化管の最も優れた検査であると言えますが、ただ内視鏡の最大の欠点は「太くて硬くて長い物を飲み込む(挿入する)」ということでしょう。しかし最近のファイバースコープは細くて柔らかく出来ており、更に当院では検査施行時に患者様のご負担を軽減するために、出来るだけ鎮静剤や鎮痛剤を併用しています。

当院では消化器疾患の早期発見と治療に取り組んでおり、消化器症状をお持ちの患者様に積極的に内視鏡検査をお勧めしています。その担当は私吉田と外科部長の中村健司ですので、どうぞお気軽にご相談下さい。





新しく職員としてお迎え致しましたスタッフのご紹介を致します。



整形外科
栗生 雅人医師

みなさま初めまして。栗生雅人と申します。

私は、昭和41年生まれの37才、香川県高松市出身です。

以前は、県内では、香川労災病院やさぬき市民病院で勤務しておりました。4月1日より阪本病院の整形外科常勤医としてお世話になることとなりました。

骨折・打撲・捻挫などの外傷(怪我)を専門としておりますが、その他腰痛・肩痛・膝痛など患者様の体の痛みを少しでも軽減できる様な診断・治療に心掛けております。

少しでも分からないことがあれば、お気軽に御質問下さい。まだまだ若輩者ですが、微力ながら地域医療に少しでも貢献できればと考えております。今後ともよろしくお願ひ致します。



経営企画室室長
田中 正和

この4月より新しく出来た経営企画室室長になりました田中です。昨年、阪本病院も地域の皆様のおかげで医療法人社団聖心会阪本病院と法人化する事が出来ました。経営企画室の仕事は、地域の皆様の声を聞きながら病院の内容をより充実させて、これまで以上に大川地区の皆様の医療福祉にお役に立てるようにする事だと思っています。以前は整形外科の医院でしたが、外科、脳外科、形成外科、泌尿器科、内科、リウマチ科、リハビリテーション科と非常に医師、スタッフとも充実した人員となってきました。特にリハビリスタッフは県内有数の人員数と内容も高いレベルだと思っています。これに慢心せず、スタッフ全員で病気を治すだけでなく、心安らげる病院になるべく努力していきたいと思っていますので、利用者のご要望とかご意見があれば遠慮なくお申し出ください。



作業療法士
神本 敬子



理学療法士
岩野 歩



看護師
久保 裕子



看護師
滝下 智香



看護師
中山 知香



看護師
中原 裕子



准看護師
福場ひろみ



准看護師
細川 愛美



事務員
上村 祐加

当院設置の医療機器のご紹介

阪本病院だより創刊号(2004年1月)の各科診療室の形成外科で紹介いたしました二種類のレーザー治療装置のうち今回は、**〈Qスイッチ付きアレキサンドライトレーザー〉**を紹介いたします。このレーザー装置は、茶色いシミ、青いアザなどの治療が可能です。

従来、行われていた植皮やドライアイスなどの冷凍療法では、治療後に傷が残ってしまうなどの二次的な副作用の問題がありました。当院で導入した最新型のレーザー装置は米国のボストンで開発された全く新しい治療器で、その治療効果についても、米国や日本において十分に時間をかけて実証されております。

治療ご希望の方は、**当院形成外科外来**までご相談下さい。

ALEX^{LAZR}™ による治療は

- 傷などの二次的な副作用の心配はほとんどありません。
- ほとんどの場合、局所麻酔のみで治療ができます。レーザー照射時の痛みもほとんどありません。
- 治療効果が徐々に現れてきますので、繰り返し治療しなければなりません。ある程度長期間の治療を覚悟しなければなりません。

レーザー治療 Q & A

Q : レーザー治療には入院が必要ですか？

A : 入院は全く必要ありません。

Q : レーザーでの治療期間はどのくらいでしょうか？

A : 一概には言えません。疾患によって1回で終わることもあります。太田母斑のように最低でも4回か5回かかるものもあります。一般的に言って、長期間の治療を覚悟して臨むことが賢明と言えます。

Q : レーザー治療で出血はありますか？

A : ほとんど出血することはありません。安全に治療できることがレーザー治療の特徴と言えます。

Q : 治療後に瘢痕は残りませんか？

A : 瘢痕はほとんど残りません。レーザー治療の場合、過剰色素のみ反応するようにレーザー光を採用しているためです。そのため正常な組織にほとんど影響なく治療することができます。



聖心会サッカー部の紹介

医療法人社団聖心会ではサッカー部を立ち上げました。

構成部員は、当院阪本病院長、理学療法士、介護士などに加え、他施設医療・介護従事者や知人、友人などで構成しています。

主な活動は、“楽しく”をモットーに月2回、第1・3水曜日に練習を行っています。また、昨年10月、今年1月には、高松教区立国際宣教神学院の方々との交流試合を行い、今後も定期的に行っていく予定です。



尚、聖心会サッカー部では入部希望、対戦の申し込みなど随時受け付けています。今後は、趣味に、健康に、また地域の方々との交流の場にと活動を広げたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

各科医師名及び診察日一覧

2004年5月1日現在

診療科目		常勤医師	非常勤医師
整形外科	院長	阪本一樹	5名
	名誉院長	阪本謙一	
	医師	栗生雅人	
泌尿器科	顧問	竹中生昌	
外科・内科・消化器科	副院長	吉田勇人	内科(2名)
外科	部長	中村健司	
脳神経外科	副院長	小川智也	
形成外科	医師	松尾伸二	1名
放射線科			1名

科目 \ 曜日	月	火	水	木	金	土
整形外科	○	○	○	○	○	○
内科	○	○	○	○	○	○
外科	○	○	○	○	○	○
脳神経外科	○	○	○		○	○
泌尿器科	○	○(午前)	○		○	
形成外科	○(午前)		○(午後3時迄)		○(午前)	
リハビリテーション科	○	○	○	○	○	○

※日・祝祭日は休診となっておりますが、急患の場合はこの限りではありません。

医療法人社団聖心会 阪本病院報 発行/阪本病院事務局広報室
〒769-2602 香川県東かがわ市川東103-1 TEL. 0879-25-1121
URL <http://www.idm-hcg.co.jp/sakamoto>